

### にいみフルハウス600



**PFOS/PFOA 89%以上除去 実証しました!**

全国各地で汚染が明らかになっているのが、有機フッ素化合物のPFOS/PFOAです。2024年6月号の「あくていぶミニニュース」でも取り上げていますが、1948年にアメリカで開発された物質です。

開発当初は他の物質との反応や分解がないため「永遠の物質」と呼ばれ、かなりの分野で使われていました。

例えば「焦げつかないフライパン」でおなじみのテフロン加工にもPFOAが使われています。そして、特にアメリカで工場排水による水道水の汚染が問題になり、今では、ほぼ全世界で使用が禁止されています。

しかし、PFOS/PFOAの最も深刻な問題は「高い発ガン性」と「体内への残留性」にあります。

#### 1.高い発ガン性

PFOS/PFOAの人体への悪影響は開発からわずか6年後に調査が開始され実証されています。そして、2023年WHO(世界保健機構)がPFOS/PFOAの発ガン性評価を引き上げ、アスベストと同等の注意を呼びかけています。

#### 2.体内への残留性

PFOS/PFOAは、そもそも非常に自然界では分解しない物質です。そのため、いったん体内に入ると残留する性質があります。

かねてから汚染が問題になった沖縄や東京の多摩地区での血中濃度も非常に高い残留性が問題になっています。

日本アクティブでは、浄水器協会が定めた規格基準により「にいみフルハウス600」で、このPFOS/PFOAの除去試験を9月に日本食品分析センターで行いました。

その結果、**PFOS/PFOAを89%以上除去**することを実証しました。

大手浄水器メーカーの蛇口接続タイプでは、同等の除去率を実証していますが、全館タイプ浄水器での実証はわずかです。今後も益々、PFOS/PFOAの汚染の実態は拡がります。

ぜひ、安心・安全に水を使うためにも  
にいみシリーズをご活用下さい。